

12月31日(木曜日)「時の区切り」の恵み

【新改訳 2017】

伝道者 3・1、2

「天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。生まれるのに時があり、死ぬのに時がある。」  
エペソ 5・16「機会を十分に生かして用いなさい。…」

今年もとうとう最後の日となりました。明日からは新年となり、皆が別世界に移住したかのように、新しい気持ちで歩み初めます。

「年」替わりは、実に不思議な時です。時の区切りがあることは、なんとという恵みでしょう。創造主なる神の驚くべきみわざの中でも、人類の生存にとって表現できないほどの大きな恵みではないでしょうか。

「きょうは失敗しても明日がある」「去年は……だったが、今年こそ……」と顧みながら、心の区切りを付けたり、切り替えをしたり、あるいは、やり直しをしたりすることができます。時の区切りの恵みを感謝し、機会を大いに活用しましょう。

この一年を感謝し、不足をお詫びし、新年の祝福を心よりお

祈りいたします。頌主。

～祈り～

主よ。この一年を、あなたのあわれみにより、恵みの中に生かしていただいたことを心から感謝いたします。明日から、また新しい思いで日々の歩みをしたいと願います。新しい祝福を信じて！

**【学びのために】**

伝道 3・11 参照。